



# 柚木だより

発行  
自衛隊静岡地方協力本部募集課  
〒420-0821 静岡市葵区柚木366  
Tel : 054 (261) 3151

## 第36代静岡地本長 田代裕久 1等陸佐 着任



### 【主な経歴】

平成	7年	10月	西部方面航空隊第3対戦車ヘリコプター隊 (目達原)
	16年	8月	幹部学校 (目黒)
	18年	8月	自衛隊東京地方協力本部台東出張所 (東京)
	20年	8月	研究本部 (朝霞)
	21年	3月	陸上幕僚監部人事部募集・援護課 (市ヶ谷)
	23年	4月	第3飛行隊長 (八尾)
	24年	8月	陸上幕僚監部装備部航空機課 (市ヶ谷)
	27年	8月	幹部学校 (目黒)
	28年	8月	中部方面ヘリコプター隊長 (八尾)
	29年	12月	陸上幕僚監部装備計画部航空機課 航空安全班長 (市ヶ谷)
令和	元年	12月	西部方面総監部総務部広報室長 (健軍)
	4年	8月	第1輸送ヘリコプター群長 (木更津)
	6年	3月	自衛隊静岡地方協力本部長【現職】

はじめまして、令和6年3月18日付で第36代静岡地方協力本部長を拝命しました、陸上自衛官の1等陸佐、田代裕久と申します。

長崎県佐世保市の出身で、海のそばで幼少期を過ごしてきたこともあり、この静岡県に赴任してまいりましてからは、駿河湾の潮の香りをかいで懐かしい思いがしています。また、前の職場は、千葉県の木更津市というところでありまして、天気の良い日は、遠く相模湾と東京湾の向こうから小さな富士山を拝んでいたのですが、静岡に来て目にする富士山は圧倒的に大きく、ここにいるだけでパワーを頂けるようで、ありがたい思いでいます。

さて、自衛隊は昨今、国内では有名な組織になりまして、自衛隊の部隊が何をしているのかは皆様ご承知のことと思います。しかし、地方協力本部とは、地域に最も密着しているはずなのに意外と何をしているか知られていないような気がしますので、簡単に紹介をさせていただきますと、以下の通りです。

- ・ **陸海空自衛官の募集及び採用**
- ・ **退職する自衛官の再就職のお手伝い**
- ・ **必要な時に招集される予備自衛官等の採用と訓練**
- ・ **災害等の国難が発生した際の、自治体と自衛隊の間の連絡調整業務**

このように、自衛隊にとっても静岡県の皆様にとっても重要な役割を担っているのが、我々静岡地方協力本部です。

着任以来、私は「静岡県民のために、そして、国家・国民のために」をモットーとして、仲間とともに、勤務しております。この職業としての自衛隊の魅力を正しく県民の皆様にお伝えすること、自衛官として勤務し成長した有用な人材（退職自衛官）を採用していただき静岡県の更なる発展のためにご活用いただくこと、そして、災害等何か起こった際には、自治体と自衛隊が有機的に連携する懸け橋となることに邁進してまいりますので、引き続き、陸海空自衛隊並びに静岡地方協力本部にご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



# 各地で入隊入校予定者激励会開催

沼津所は3月10日（日）、同市在住の入隊予定者11人（高校生6人、専門学校生2人、社会人3人）と家族を招待し沼津市立図書館で行われた「自衛隊入隊予定者激励会」を支援した。

頼重市長は自衛隊の被災地での活躍に触れ、「専門的知識と技術を持った自衛隊の多大なる尽力に心を打たれ、励まされ、勇気もらった。積極果敢に知識を得て、尊敬され、期待される自衛官になってほしい」と期待を寄せた。

続いて沼津市自衛隊協会の多家会長は「3カ月間訓練を受けて任用される自衛官は、自らを活かし切る職業。素晴らしく、悔いのない人生を歩んでほしい」と語りかけた。

また、静岡地本の武田本部長は「沼津市民の自衛隊に対する信頼や関心が高まっていることを心に刻んで入隊して欲しい。自分を中心にせず、周りに尽くすことで団結が強化され互いに助け合うチームになる。任務を遂行して国家に奉仕し自己実現につなげてほしい」と祝辞を述べた。

入隊予定者を代表し陸上自衛隊自衛官候補生として入隊予定の大村龍さんが、一般企業に勤務していたが、自衛官として災害派遣などで活躍する兄に強い憧れを持ち入隊を決意したことを話し、「国民のため、国防に携わりたい」と熱い気持ちを示した。

入隊予定者の家族は「厳しさや寂しさもたくさんあると思うが、それを乗り越えて成長し、立派な自衛官、社会人になることを応援したい」と話した。



## 自衛隊富士病院で知る「健康を守る自衛官」

富士所は3月13日（水）、自衛隊富士病院（駿東郡小山町）で歯科・薬剤科幹部候補生受験希望者の研修を行った。

今回は、一般大学の薬剤科に進学する学生と民間で働いている歯科医師から、「自衛隊病院での勤務環境や仕事内容を知りたい」との依頼があり、同病院の協力を得て研修を実施した。

当日は、同病院で勤務する先任診療部長、衛生資材課長との懇談に加え、歯科診療室、薬局、外来病棟、レントゲン室、臨床検査室等の見学を行った。懇談では、歯科医官と薬剤官の職務内容やキャリアパスの話を聞き、参加者からは「民間との違いを感じることは何ですか」「試験に向けて心掛けることはありますか」と将来を見据えた質問が寄せられた。

質問を受けた担当者は、歯科治療に関する民間との違いを「口腔外科や形成外科なども含めたオールラウンドな知識と技術が求められる。また、民間では審美性を追求する流れもあるが、自衛隊では隊員の健康管理と治療が第一」と詳しく説明した。

その後の施設見学では、実際の歯科医療の現場や薬局を見学し、自衛隊病院のシステムや一般病院との違いなどを確認した。

研修終了後、参加者は「直接話を聞いて、民間と自衛隊の違いをしっかりと知ることができた」「薬剤官の仕事を具体的にイメージすることができた」と感想を話していた。



# 多彩な自衛隊の音楽を堪能 第43回静岡音楽祭

静岡地本は1月27日（土）、グランシップ（静岡市）で開催された第43回静岡音楽祭に協力した。

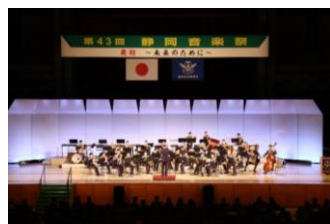
これは静岡県防衛協会が主催し、自衛隊の音楽隊や地元高校の吹奏楽部などを招いて開催しているもの。今回は静岡市立清水桜が丘高等学校吹奏楽部、陸上自衛隊第34普通科連隊らっば隊、滝ヶ原駐屯地雲海太鼓、陸上自衛隊東部方面音楽隊が出演した。

オープニングを飾った清水桜が丘高校吹奏楽部は、地元清水区に馴染みのあるアニメソングや「かっぱれファンク」などを踊りや演出を加えて華やかに披露し、会場を盛り上げた。

第34普通科連隊らっば隊は、凛々しい迷彩服姿でステージと客席横から登場。県内出身隊員の解説を交えながら、自衛官の一日に沿って起床や食事を知らせるらっばの調べなどを紹介した。

滝ヶ原駐屯地の有志で活動している滝ヶ原雲海太鼓は、大中小さまざまな大きさの和太鼓を巧みに打ち分け、体の芯に響くような迫力ある響きで観客を魅了した。

音楽祭の最後を飾ったのは、国家行事や災害派遣での慰問演奏などを経験したことのある陸上自衛隊東部方面音楽隊。明るく勢いのあるゲーム・アニメソングや、しっとりとしたオペラの名曲メドレーなど、子どもから大人まで楽しめる曲目を高い技術力で演奏し、最後はメロディーに合わせた手拍子で会場が一体となった。



## 希望を胸に教育隊へ 入隊予定者を見送り

静岡地本は3月25日（月）、本部庁舎（静岡市）において陸上自衛隊武山駐屯地（神奈川県横須賀市）に一般曹候補生として入隊する予定者の見送り行事を行った。

午前8時半、静岡市在住の入隊予定者6人が、リュックやバッグを手に家族とともに本部庁舎に集まった。見送り行事では、緊張した面持ちの入隊予定者の前に田代本部長が立ち、「今日顔を合わせる同期とは一生の付き合いになります。人との出会いを大切に、同期との絆を育ててください」と自らの経験を基に語りかけた。

また、同席した家族向け「自分の親も、自衛隊に送り出す時には不安を感じていたと話してくれました。子どもたちはこれから慣れない環境で訓練に励みます。どうか戻った時にほっとできる場所を準備してあげてください」と温かな言葉をかけると、しばしの別れとなる家族の目からは涙があふれていた。

その後、入隊予定者たちは地本隊員の盛大な拍手に包まれてバスに乗り込み、窓から家族や隊員に手を振りながら駐屯地へ旅立った。今後、全国から集まった同期とともに生活し、一人前の自衛官となるべく訓練に励んでいく。



## 各駐屯地・基地での着隊の様子



陸上自衛隊



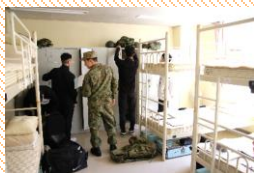
海上自衛隊



航空自衛隊



板妻駐屯地  
(御殿場市)



横須賀  
教育隊  
(神奈川県)



熊谷基地  
(埼玉県)



# 転出

- ▽ 富士・開発実験団  
2等陸佐 橋本 政和 (募集課長)
- ▽ 豊川・第49普通科連隊  
1等陸尉 早川 勉 (沼津所長)
- ▽ 札幌・北方総監部総務部  
1等陸尉 宝保 竜平 (藤枝所長)
- ▽ 前橋・群馬地方協力本部  
2等陸尉 松本 栄一 (三島所長)
- ▽ 駒門・第1高射特科大隊  
陸曹長 佐野 繁 (センター)
- ▽ 浜松・第1術科学校  
空曹長 木原 雅人 (沼津所)
- ▽ 板妻・第34普通科連隊  
1等陸曹 高田 哲志 (センター)

- ▽ 板妻・第34普通科連隊  
2等陸曹 藤田 浩久 (センター)
- ▽ 帯広・第5高射特科隊  
2等陸曹 松永 栄幸 (三島所)
- ▽ 静浜・第11飛行教育団  
2等空曹 森谷 剛史 (藤枝所)  
3月18日付
- ▽ 近畿中部防衛局東海防衛支局  
1等海尉 藤井 隆裕 (伊東所長)  
3月22日付
- ▽ 那覇・沖縄地方協力本部  
行(一)6 瀧間 哲郎 (援護課長)

- ▽ 豊川・豊川駐屯地業務隊  
行(一)5 島 和明 (援護課)
- ▽ 朝霞・東部方面総監部情報部  
行(一)4 金井 智重 (総務課)
- ▽ 市ヶ谷・東京地方協力本部  
行(一)4 山口 明彦 (総務課)
- ▽ 木更津・木更津駐屯地業務隊  
行(一)4 瀬戸 卓也 (総務課)
- ▽ 高田・高田駐屯地業務隊  
行(一)1 鶴 恵理子 (援護課)
- ▽ 所沢・防衛医科大学校  
行(一)1 岩田 浩輝 (総務課)
- ▽ 青野原・青野原駐屯地業務隊  
行(一)1 銘苅 仁菜 (募集課)  
4月1日付

# 転入

- ▽ 浜松所 3等海曹 松村 伊朗  
(横須賀・掃海艇えのしま)  
3月8日付
- ▽ 募集課長 2等空佐 山浦 守  
(浜松・航空教育集团司令部)
- ▽ 藤枝所長 1等陸尉 小林 孝也  
(駒門・機甲教導連隊)
- ▽ 総務課 1等陸尉 篠崎 隆一  
(練馬・第1師団司令部)
- ▽ 沼津所長 2等陸尉 野崎 勇一  
(豊川・第49普通科連隊)
- ▽ センター 准陸尉 永井 一也  
(宇治・関西補給処)
- ▽ 援護課 准陸尉 瀬瀨 憲作  
(滝ヶ原・教育支援施設隊)
- ▽ 総務課 陸曹長 中原 毅士  
(武山・第117教育大隊)

- ▽ センター 1等陸曹 望月 奨  
(富士・富士学校)
- ▽ 沼津所 2等空曹 河内 稔  
(静浜・第11飛行教育団)
- ▽ 藤枝所 2等空曹 澤田 俊良  
(浜松・第1航空団司令部)
- ▽ 募集課 2等陸曹 山崎 豊和  
(座間・第4施設群)  
3月18日付
- ▽ 伊東所長 3等海佐 高木 淳規  
(岩国・第111航空隊)  
3月22日付
- ▽ 募集課 3等海曹 木所 隆介  
(横須賀・護衛艦ゆうぎり)  
4月1日付

- ▽ 援護課長 行(一)6 伏見 和哲  
(所沢・防衛医科大学校)
- ▽ 総務課 行(一)4 吉田 武史  
(松戸・関東補給処松戸支処)
- ▽ 援護課 行(一)4 山上 勉  
(横浜・神奈川地方協力本部)
- ▽ 総務課 行(一)4 高橋 宏明  
(市ヶ谷・東京地方協力本部)
- ▽ 総務課 行(一)3 鈴木 円  
(朝霞・東部方面総監部法務官室)
- ▽ 援護課 行(一)3 相馬 那由太  
(市ヶ谷・陸幕装備計画部)
- ▽ 総務課 行(一)3 千葉 祐輔  
(霞ヶ浦・関東補給処火器車両部)
- ▽ 総務課 行(一)1 吉野 大雅  
(松本・松本駐屯地業務隊)
- ▽ 募集課 行(一)1 奥村 夏奈子  
(霞ヶ浦・関東補給処通信電子部)  
4月1日付

# 部内異動

- ▽ 清水所長 1等陸尉 清水 邦彦  
(募集課)  
3月1日付
- ▽ 三島所長 1等陸尉 林 正士  
(総務課)
- ▽ センター 1等陸曹 戸田 満  
(援護課)
- ▽ 三島所 1等陸曹 佐藤 和令  
(募集課)  
3月18日付

# 退職

- ▽ センター 非常勤 松澤 蘭美
- ▽ センター 非常勤 高村 まち子
- ▽ 募集課 非常勤 角 かおり  
3月31日付

# 新規採用

- ▽ センター 非常勤 古本 尚吾
- ▽ センター 非常勤 伊藤 精彦  
4月1日付



# 静岡地本 4、5、6月 主要行事予定

## 4月

- 上旬…入隊引率・入隊式
- 1日…定期異動
- 9日…予備自衛官補採用試験(WEB)
- 13日…予備自衛官補採用試験(口述)
- 14日…予備自衛官1日間訓練(本部)
- 20日…一般幹部候補生1次試験(大・院卒)
- 21日…一般幹部候補生1次試験(飛行)
- 24日…だるま目入れ式

## 5月

- 10~12日…静岡ホビーショー
- 17~19日…下田黒船祭
- 18~19日…#1一般曹候補生1次試験(WEB)
- 19日…予備自衛官1日間訓練(本部)
- 28日…#1自衛官候補生試験(WEB)

## 6月

- 1日…#1自衛官候補生試験(口述)
- 11日…#2自衛官候補生試験(WEB)
- 15日…#2自衛官候補生試験(口述)
- 15~16日…#1一般曹候補生2次試験
- 16日…予備自衛官1日間訓練(本部)
- 22日…#2幹部候補生1次試験